学校番号	３０９

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　高校生の音楽３（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや確認テスト・実技テストで評価します。
・進学に向けた専門的な音楽理論の知識を増やします。
・グループ活動を多く取り入れ、発表の場を多く設け、お互いの表現方法を評価しあいます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、総合的に理解し、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素や構造などとかかわらせて総合的に理解し、個性を生かした創造的な表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解することなどを基にして、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解をより一層深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	みんなで歌おう	【歌唱】 群青 さとうきび畑 Imagine	○	○	○		a:楽曲や詩の良さを生かすための発声や様々な表現を工夫した表現に主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲の全体像を、歌詞の内容や楽曲の背景、音楽を形づくっている要素や構造などとかかわらせて総合的に理解し、個性を生かした創造的な表現を目指して工夫している。 c:理解した音楽の全体像や楽曲の良さを表現するための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう 〜リコーダー4重奏〜	【器楽】 オープニング・テーマ 小組曲「ピタゴラスイッチ」から	○	○	○		a:リコーダー二重奏の形態による楽器の特徴や楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と構成の特徴や楽曲の表現内容を総合的に理解し、創造的な表現につながるよう工夫している。 c:音楽を総合的に理解した上で、個性を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	特徴ある音楽をつくろう	【創作】 魅力的なメロディーを創作	○	○	○		a:様々な様式や演奏形態の特徴を理解し、自分の個性を生かした創作をしようとしている。 b:様々な様式や演奏形態の特徴を生かし、個性を生かした表現になるよう工夫して創作をしている。 c: 音楽を総合的に理解した上で、個性を生かした表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞〈西洋音楽〉	【鑑賞】 レクイエム　ニ短調　KV626(モーツァルト)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と合唱の美しさとの関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解することなどを基にして、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解をより一層深く考えながら、聴いている。	観察 ワークシート

2・3学期	合唱の楽しみ	【歌唱】 鷗(混声4)	○	○	○		a:歌詞の内容や楽曲の背景に関心もち、少人数という表現形態の特徴やその効果を生かすために主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲の全体像を、歌詞の内容や楽曲の背景、音楽を形づくる要素や構造などとかかわらせて総合的に理解し、個性を生かした創造的な表現を目指して工夫している。 c:理解した音楽の全体像や楽曲の良さを表現するための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう ～卒業の曲～	【器楽】【鑑賞】 卒業に向けた楽曲 「3月9日」	○	○	○	○	a:楽曲の表現内容をよく理解し、効果的な演奏をしようと意欲的に取り組もうとしている。 b:楽曲の表現内容をよく理解し、演奏形態の効果を生かすための表現を工夫している。 c:理解した音楽の全体像や楽曲の良さを表現するための技能を身に付けている。 d:音楽の構造上の特徴と、音楽の美しさとの関係や、他の芸術や文化とのかかわりを理解し、楽曲や演奏を解釈したり批評することができる。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	グループによる自由発表	【歌唱】【器楽】 【創作】【鑑賞】 グループでアンサンブル、創作、自由研究を行い相互に発表し、批評しあう	○	○	○	○	a:楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって意欲的に歌唱したり演奏したりしている。また、音楽の総合的な理解につながるような研究を意欲的に行っている。 b:楽曲の表現内容を総合的に理解し、創造的な表現につながるよう工夫している。また、様々な様式や演奏形態の特徴を生かし、個性を生かした表現になるよう創作している。 c:音楽を総合的に理解した上で、個性を生かした表現をするための技能を身につけている。 d:音楽の構造上の特徴、音楽の美しさとの関係や、他の芸術や文化とのかかわりを理解し、発表者の表現意図や表現内容を適切に解釈している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。